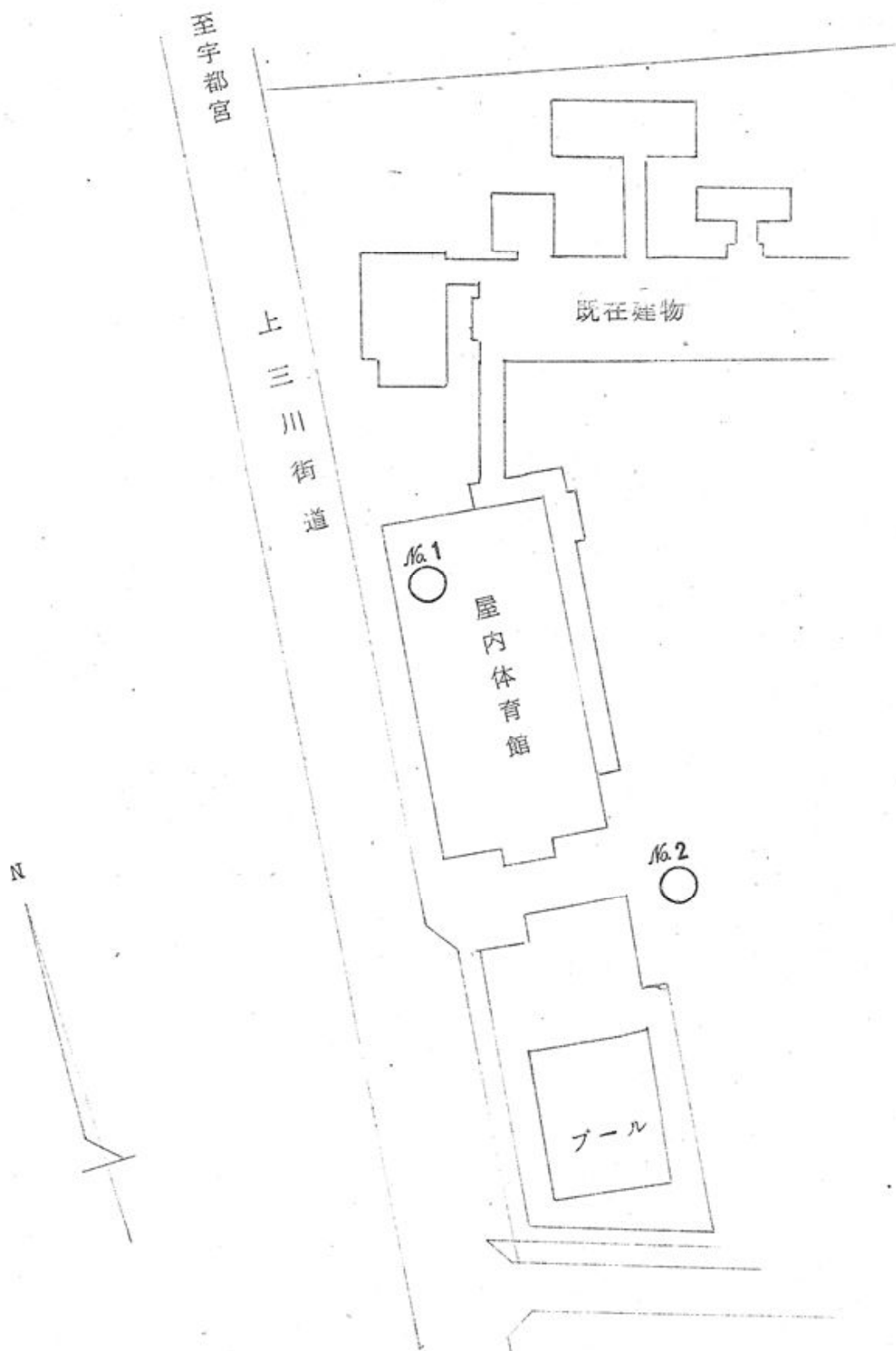
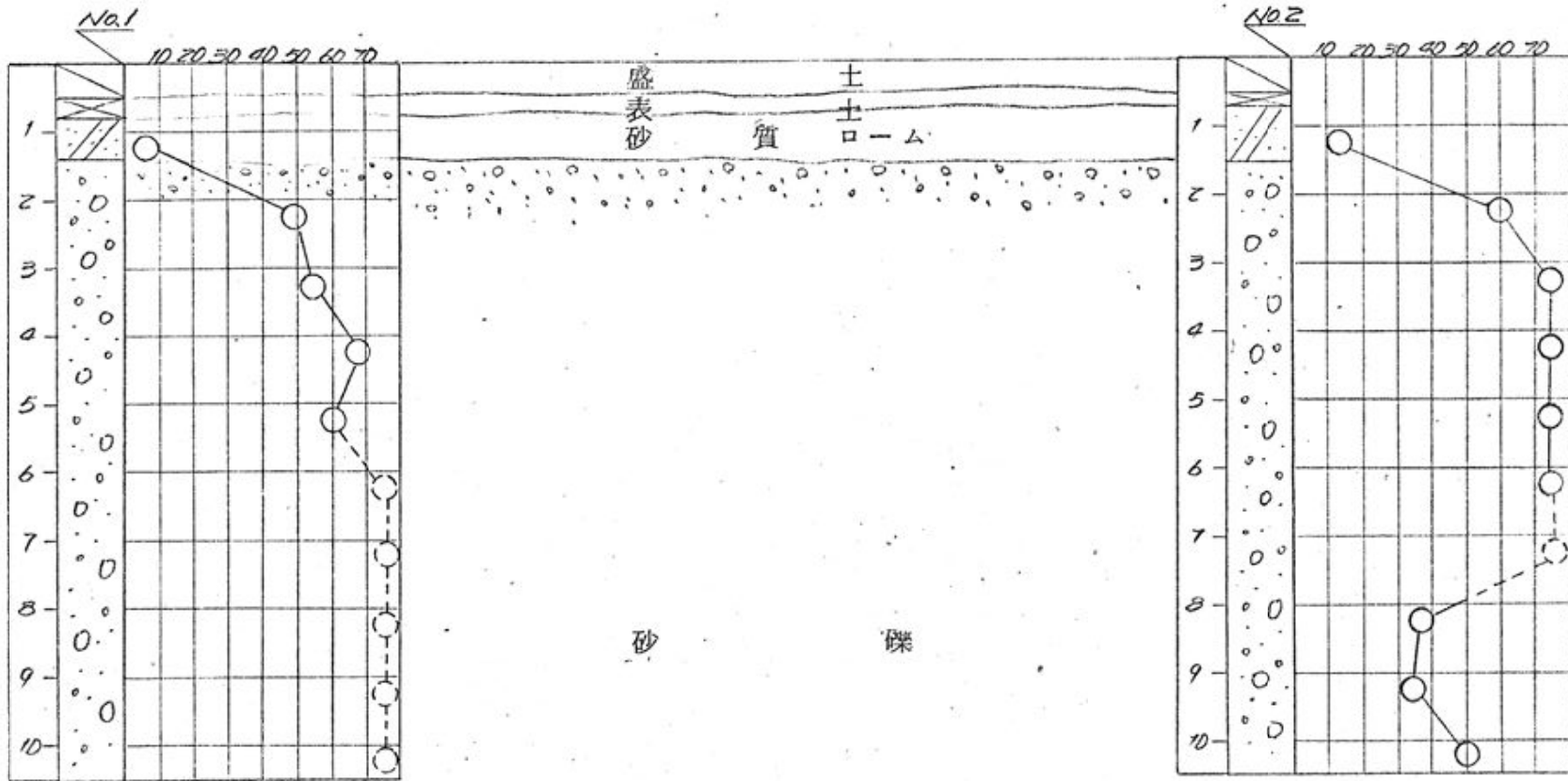


ボーリング位置図



推定地質断面図



ボーリング柱状図

調査名 横川中央小学校体育館新設に伴う地調 孔番 No. 1 地盤高 m

調査場所 宇都宮市尾板地先 (基準面)

地 形 摘 要

調査期間 昭和50年4月15日 ~ 4月21日

地下(孔内)水位 2.00

調査担当者

標高 地下水位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料		原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験						
					色調	相対密度		番号	記号		採取深度 (m)	打撃回数					
											10	20	30	40	50	60	70
	0.25	0.50	△	砂上													
	0.25	0.30	△	赤土	黒色												
	1.40	0.60	△	砂質シルト	粘泥			1		1.15~ 1.45	7						
			○				上部より5.00m 付近激しく 崩壊する	2		2.15~ 2.45	49						
			○				崩壊する	3		3.15~ 3.43	40/ 28						
			○				非常の硬直な塊 を存在する	4		4.15~ 4.37	50/ 22						
			○				20~30%の塊を 多く混入し	5		5.15~ 5.40	50/ 18						
			○				最大塊径=	6		6.15~ 6.36	50/ 11						
			○				20~70%程度	7		7.15~ 7.31	50/ 16						
			○				5.00m以下深さ 掘工が多少 混入する。	8		8.15~ 8.33	50/ 18						
			○					9		9.15~ 9.32	50/ 17						
			○					10		10.15~ 10.34	50/ 19						
	12.21		△	砂													

(註) ○ 標本試料 ● 乱した試料 □ 乱さない試料

ボーリング柱状図

調査名 横川中央小学校体育館新設に伴う地調 孔番 No. 2 地盤高 m

調査場所 宇都宮市屋敷地先 (基準面)

地 形 摘 要

調査期間 昭和51年4月22日 ~ 4月28日

地下(孔内)水位 1.50

調査担当者

標高 地下水位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験						
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数						
												10	20	30	40	50	60	70
	0.50	0.50		表土														
	0.70	0.20		表土														
	1.50	0.80		砂層	黄褐色		砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	1		1.15- 1.45	13	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	2		2.15- 2.40	25	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	3		3.15- 3.35	50	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	4		4.15- 4.35	50	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	5		5.15- 5.37	50	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	6		6.15- 6.35	50	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	7		7.15- 7.37	50	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	8		8.15- 8.45	57	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	9		9.15- 9.25	34	○						
							砂層上部より 5.00m程度掘削工 が主に行われ、 前硬軟い。	10		10.15- 10.45	50	○						
	0.05			砂層			150m付近に 15cm程度ノット あり。											

(註) ○ 標本試料 乱した試料 □ 乱さない試料
北関東建設株式会社